



武陽食品株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel. 03-3211-4831 Fax. 03-3211-6004

『武陽月報』は、武陽食品株式会社と株式会社J-オイルミルズが、酪農家・肉牛農家の皆様に役立つ情報をお届けするニュースレターです。

1 月生乳生産前年比 4.7%増 農水省

農林水産省は、令和4年1月の全国の生乳生産量は、65万186トン(前年同月比3.5%増)と前年同月をやや上回ったと発表した。地域別には、北海道が36万6,919トン(同4.7%増)、都府県が28万3,267トン(同2.0%増)となり、いずれも前年を上回って推移した。

用途別処理量は、牛乳等向けが32万8,016トン(前年同月比0.1%減)と前年並みとなった。牛乳等向けは令和3年7月を底に徐々に減少幅が縮小してきている。また、業務用向けは、2万5,615トン(同8.5%増)とかなりの程度上回った。乳製品向けは31万7,887トン(同7.4%増)となり、このうち脱脂粉乳・バター等向けは17万4,663トン(同7.6%増)と、前月(3年12月)もほとんど同量であった。また、クリーム向けが5万9,814トン(同13.1%増)、チーズ向けが3万8,617トン(同5.6%増)と、いずれも前年同月を上回った。

1 人当たり牛乳・乳製品支出減少 総務省

総務省は、令和3年(1~12月)の全国1人当たりの牛乳・乳製品の支出金額が1万3,056円(前年比2.2%減)と前年をわずかに下回ったことを発表した。ただし、COVID-19拡大以前である令和元年と比較すると5.2%増となり、やや上回る結果となっている。

製品別には、バターが465円、チーズが2,296円、ヨーグルトが4,715円といずれも前年を下回ったものの、それぞれ前年に次いで過去2番目の支出金額となった。このため牛乳・乳製品全体でも前年に次ぐ

結果となり、一定の巣ごもり需要が継続しているものとみられている。特にバターについては業務用需要が不振の中、家庭内での消費が増加したとしている。

生乳確保競争が激化 オーストラリア

オーストラリア(豪州)の酪農団体デーリーオーストラリアが発表した豪州酪農乳業の現状と見通しに関する報告書において、今年度の生乳生産量は前年度を上回る可能性は低く、生乳確保に向けた乳業の競争は今後も続くとしていたが、2022年に入り乳業各社による生産者支払乳価の引き上げが相次ぐ結果となった。

中国乳業大手の蒙牛乳業傘下のバラ社は21年7月には生乳の固形分1キログラム当たり6.60~7.00豪ドル(561~595円:1豪ドル=84.95円)としていた乳価を、22年1月に同6.70~7.10豪ドル(569~603円)に引き上げると公表した。これを受け、豪州フォンテラ社も、21年10月に同7.10豪ドル(603円)に引き上げていた乳価をさらに引き上げ、同7.30豪ドル(620円)とすることを22年2月に公表した。

乳価の引き上げ傾向は隣国のニュージーランドも同様であり、同国最大の酪農協系乳業メーカーであるNZフォンテラ社は22年1~2月と2カ月連続で生産者支払乳価の引き上げを公表し、同社の乳価は同社過去最高水準である同9.60NZドル(761円:1NZドル=79.27円)となっている。

飼料のご用命は

武陽食品株式会社

飼料部宮城営業所 飼料部福島営業所

東北第一営業所山形出張所

担当

1月牛肉生産前年同月比 3.6%増 農水省

農林水産省は、令和4年1月の牛肉生産量は、2万5,761トン(前年同月比3.6%増)と前年同月をやや上回ったと発表した。品種別には、和牛は1万1,623トン(同4.3%増)とやや、交雑種は6,759トン(同7.6%増)とかなりの程度、いずれも前年同月を上回った。一方で、乳用種は6,961トン(同1.0%減)と前年同月をわずかに下回った。過去5カ年の1月の平均生産量との比較では、3.0%増とやや上回る結果となった。

1月牛肉輸入年同月比 20.9%減 農水省

農林水産省は、令和4年1月の牛肉輸入量は4万397トン(前年同月比8.2%減)と前年同月をかなりの程度下回ったと発表した。

このうち冷蔵品は、米国産および豪州産の輸入量が現地価格の高止まりなどにより減少したことから、1万6,314トン(前年同月比20.9%減)と前年同月を大幅に下回った。また、冷凍品は、冷蔵品と同様に米国産および豪州産の輸入量が減少したものの、他国産の輸入量が増加したことから、2万4,048トン(同3.0%増)と前年同月をやや

上回った。過去5カ年の1月の平均輸入量との比較では、冷蔵品は15.7%減とかなり大きく下回る一方、冷凍品は4.2%増とやや上回る結果となった。

牛肉需要増により卸売価格が高騰 米国

米国農務省農業マーケティング局は、2022年1月の牛肉卸売価格は前年同月比30.4%高となる100ポンド当たり282.54米ドル(1キログラム当たり726円:1米ドル=116.55円)と大幅に上昇したと発表した。昨年4月以降、高値で推移している価格状況について米国の食肉処理産業は、経済回復に伴う食肉需要の急増や新型コロナウイルス感染症の流行に起因する供給網の混乱、さらに、労働力不足と輸送コストの上昇を反映したものであるとしている。

一方で、バイデン政権は、食肉処理産業は寡占状態にあり、パンデミックを利用して不当に利益を搾取しているとして、食肉処理加工業の競争促進のため、新たな独立系の食肉処理場への助成金や融資などを含む措置を発表した。

J-オイルミルズ ファイバーフィード 乳用牛・肉用牛飼育用配合飼料

ファイバーフィードは、大豆皮を主原料とし、ペレット化した混合飼料です。大豆皮はNDF含量が高いにもかかわらず、リグニン含量が低いため消化性が高く、高エネルギーです。高繊維、高エネルギーの原料である大豆皮をふんだんに使用した、ファイバーフィードはJ-オイルミルズにしかない、独自の飼料です。

夏場の飼料給与には、粗飼料の不足を補い、第一胃内の発酵の安定させる、ファイバーフィードをお勧めします。



成分	原物中	乾物中
粗たん白質	14.0%前後	16.0%前後
粗脂肪	3.0%前後	3.4%前後
粗繊維	23.0%前後	26.4%前後
粗灰分	7.0%前後	8.0%前後
カルシウム	0.40%前後	0.40%前後
りん	0.15%前後	0.17%前後
T D N	65.0%前後	74.7%前後